

自主防災ニュース

北野台自治会 自主防災会

第22回総合防災訓練の報告

北野台自治会自主防災会主催の「総合防災訓練」が10月16日（日）に災害時に避難所となる高嶺小学校の校庭にて行われました。防災訓練開始時は雲が厚く天候が危ぶまれましたが、その後天気は回復し、訓練に最適な日和となりました。

防災訓練実施要領に基づき、自主防災会隊員及び各班で受け入れた生徒が11時30分に自治会館に集合、点呼の後、高嶺小学校校庭に移動し、机や椅子の配置・訓練用具の設置を速やかに行いました。

12時30分、参加者は丁目ごとに所定の集合場所に集まり、救出救護班から応急担架の作り方の指導を受けました。その後、負傷者を安全な場所に運ぶ訓練として避難誘導班の誘導のもと6人一組で担架を持って、訓練会場の高嶺小学校校庭に移動しました。

受付後、各丁目ごとに本部前に集合し、伊藤八王子消防署北野出張所所長、藤倉八王子市生活安全部長、広瀬八王子市教育委員会学校教育部長、古屋南大沢警察署警備課長、持田中山中学校校長、谷上中山小学校副校長、渡辺高嶺小学校校長にご挨拶を戴き、1時30分篠原隊長の訓練開始宣言にて、訓練を開始しました。

一般参加者・自治会班長と副班長・団体・中山中生徒・高嶺小児童・中山小児童・自主防災会隊員・要援護者・擁護者と特別参加の高嶺団地を合わせて、総勢297名が熱心に5種目の訓練を行いました。訓練は八王子消防署北野出張所、八王子市消防団第十分団の方々に、ご指導とご協力を戴きました。

訓練に先立って「災害緊急時要援護者」の安否確認訓練がご近所の登録頂いている方々によって行われ、全員の所在の確認がなされました。



来賓の方々



ご指導頂いた消防署と消防団の方々

(1) バケツリレー訓練 (消火班)

公園内の消防用水利から「組み立て式貯水槽」に水を入れ、そこから火元と想定した目標に向かってバケツリレーによる消火訓練をした。

消防署の指導：

1. バケツには半分くらい水を入れること。
2. バケツの取手の横を持って手渡すのがコツ。



(2) 初期消火訓練 (消火班)

水充填の消火器による消火訓練を各人が体験し、消火剤充填消火器の取り扱い方について消防署員から説明を受けた。

消防署の指導：

1. “**火事だあー**” と大きな声で叫ぶ。火の根元をねらい消火器のホースをあてる。
2. 消火液は12秒程度しかもたない。



(3) 起震車体験訓練 (老人弱者援護班)

地震の震度影響がどのようになるのか、起震車上の「仮設ルーム」で震度1～7を実際に体験した。

市の指導：

1. 逃げ口を確保。
2. 「火を消せ」よりまず身の安全。
3. 布をかぶる。
4. 机の下に入り机の脚をしっかり押える。



(4) AEDを使って心肺蘇生 (救出救護班)

自治会館に新しく設置されたAEDの説明とAEDの使用方法を実際に体験した。

消防署の指導：

1. 意識がなく、呼吸をしていない時はすぐ心臓マッサージを行う。
2. AEDがあればすぐ対応する。



(5) 応急担架の作り方 (避難誘導班・救出救護班)

物干竿と毛布を使っての応急担架の作り方の説明と応急担架作りを体験した。

作った担架に砂袋を載せ、6人1組で高嶺小学校校庭まで負傷者を運ぶ訓練をした。運ぶ人は途中で交代した。



(6) 給食給水活動 (給食給水班)

給食給水班では中山中生徒、高嶺小児童、中山小児童も加わり、アルファ米と無洗米の炊き出し訓練をし、参加者全員に提供した。

参加者は炊き出し訓練を見学し、防災用具の説明、非常時の飲料水の給水・備蓄の方法について説明を受けた。



消防署員によるスタンドパイプの説明と放水デモンストレーションの後、各丁目ごとに本部前に集合し、中田八王子消防団第十分団分団長から「住民パワーを感じる素晴らしい訓練を見せてもらった」の講評を頂きました。お手伝い頂いた小学生、中学生、高嶺団地支援者に前に出て頂き篠原隊長より代表者に参加証が授与され、訓練参加者から盛大な拍手が送られました。総合防災訓練は篠原隊長の訓練終了宣言をもって終了しました。参加した皆様のご協力まことに有難うございました。



中学生・小学生も含めて、防災意識が高まったことと思います。

次に当日のアンケート集計結果は以下の通りです。

(A) アンケート集計結果：アンケート総数 169枚

(B) 集合訓練について

訓練項目	理解した	理解出来なかった	再度体験希望
避難誘導・担架搬送	148	1	8
AEDを活用した心肺蘇生	150	6	8
地震の体験	150	1	4
バケツリレー消火	158	2	3
消火器の扱い	163	2	2
給食給水見学	158	3	—
スタンドパイプの実演	152	6	—

(C) 訓練についての感想など（一部掲載）

イ) AED を活用した心肺蘇生

- * 体験できて良かった（5名）
- * 繰り返しの体験が大切（2名）
- * 訓練での AED を増やして欲しい。全員できない。

ロ) 地震の体験

- * 強い揺れに驚き、こわさが分かりました（5名）
- * 自宅の家具の耐震化を見直したい。

ハ) 消火器の扱い

- * やり方が分かりました。

ニ) 消火栓のホース（スタンドパイプ）

- * 大変そう（2名）
- * どんな理由があろうと素人では無理。

ホ) その他の意見

- * 参加して大変有意義でした（6名）。
- * 来賓の挨拶が長い（5名）。
- * 待ち時間が長い等の時間に関する意見（5名）。
- * 自宅近くの消火設備（消火器、消火栓等）を改めて確認したい（2名）。
- * 繰り返しの体験が重要です。できるだけ多くの住民に体験頂くと良い。
- * 大変立派な防災訓練に感銘を受けました。高嶺団地自治会も参考にさせて頂き防災意識を高めてまいりたいと思います。有難うございました。
- * 訓練のハンドマイクが聞こえない。
- * 皆様ご苦労様でした（2名）



防災に関する説明

(D) 防災訓練を何で知りましたか？（複数回答）

イ) ふれあい北野台	86名
ロ) 自主防災ニュース	44名
ハ) 掲示板	21名
ニ) 広報車	11名



小学生・中学生に参加証

10月29日（土）訓練反省会

各班から提出された反省点、本部からの指摘と対応策、アンケート結果等を基に討議し、改善点は次年度の行動計画に盛り込む事にします。



スタンドパイプの説明



スタンドパイプからの放水